



校 訓

創造 親和 鍛練

令和6年11月26日 NO,14

学校教育目標

「笑顔輝く」

五島市立玉之浦小中学校
校長

音楽発表会

福江文化会館で、五島市小中学校音楽発表会が開催されました。午前中に行われた小学校の部では、本校の明るさと元気を届けようと一生懸命に頑張ってきた成果を出し切ることができました。「23人の心を一つに」をスローガンに掲げ、練習時から真剣に取り組み続けた結果であるととらえています。特に、1・2年生3名によるボディーパーカッションのオープニングの堂々たる態度は素晴らしかったです。



午後の部には、中学校が出演。10名での参加は、出場校中最も少ない人数でしたが、会場を見事なハーモニーで包み込みました。歌声の課題の解決に向け、練習時から中学3年生のリーダーシップが発揮されたこともこのような結果に結び付いたものととらえています。



「小学生全員が一体となって表現している姿に涙が出てきた。」「玉之浦中学校の頑張りを全校生徒に見せたかった。」といった感想が多く寄せられ、児童生徒と共に喜びました。



音楽発表会の感想

手をつなごうでは、はくしゅを大きくしたり声を大きくしたりして、会場みんなを元気にすることができてよかったです。ステージで歌うのが気持ちよかったです。

目標にしていた表情と口の開け方をたっせいできたと思います。理由は、表情は笑顔で歌えたし、口も大きく開けることができたと思うからです。次の音楽発表会も楽しみです。

自分がかんばったのは、手びょうしと「手をつなごう」の歌で力を出しきりました。カマキリのまねをしたら会場みんながわらってくれたのがうれしかったです。音楽発表会に久しぶりに出ることができてうれしかったです。次の発表会でも力をつくたいです。

まず、全員が最後まで歌いきることができて良かったです。また、いろんな先生たちが「感動した」「涙を流した」と言ってくれて嬉しかったです。と同時に「今まで本気で練習してきた良かった」と心の底から思いました。私は最後の挨拶も担当しましたが、みんなに自分の思いが伝わったと思うとすごくホッとしました。10人で歌うことができるとても良い思い出になりました。

練習ではみんなで協力して意見を出し合いながら進めることができました。そしてみんなと歌っていくうちに自分も声が出るようになり「歌うことは楽しいことだ」と感じるようになりました。歌う前は緊張していましたが、歌っていくうちに緊張もなくなり、楽しく歌うことができ、達成感を味わうことができました。

